

2025年度在学時学生実態調査 結果報告

IR推進室

調査期間：2025年12月11日（木）～2026年1月29日（木）

調査対象：2025年度2年次～4年次生（全学部全学科）



エグゼクティブ・サマリー

1. 教育の質・学修経験

- 授業の分かりやすさや教え方への評価は非常に高く、本学の教育の質は総じて良好である。
- 一方で、数理・統計・データサイエンス分野の能力獲得実感は相対的に低い。

2. 成長実感と教育改善

- 学年が上がるにつれて、学生の成長実感および教育全体への評価は緩やかに高まっている。
- しかし、学生の意見が教育改善に反映されているという実感は十分とは言えない。

3. 学生生活・学修行動

- 学生の時間配分は、授業への出席およびアルバイトに大きく偏っている。
- 主体的学習行動は学年進行とともに強まる傾向にあるが、学修の質的転換には課題が残る。

4. 進路意識・キャリア形成

- 学年進行に伴い進路未定層は減少し、国内企業・団体への就職志向が明確化している。
- 一方で、専門分野と進路の結びつきに対する明確な意識は弱まる傾向にある。

5. 総合的示唆

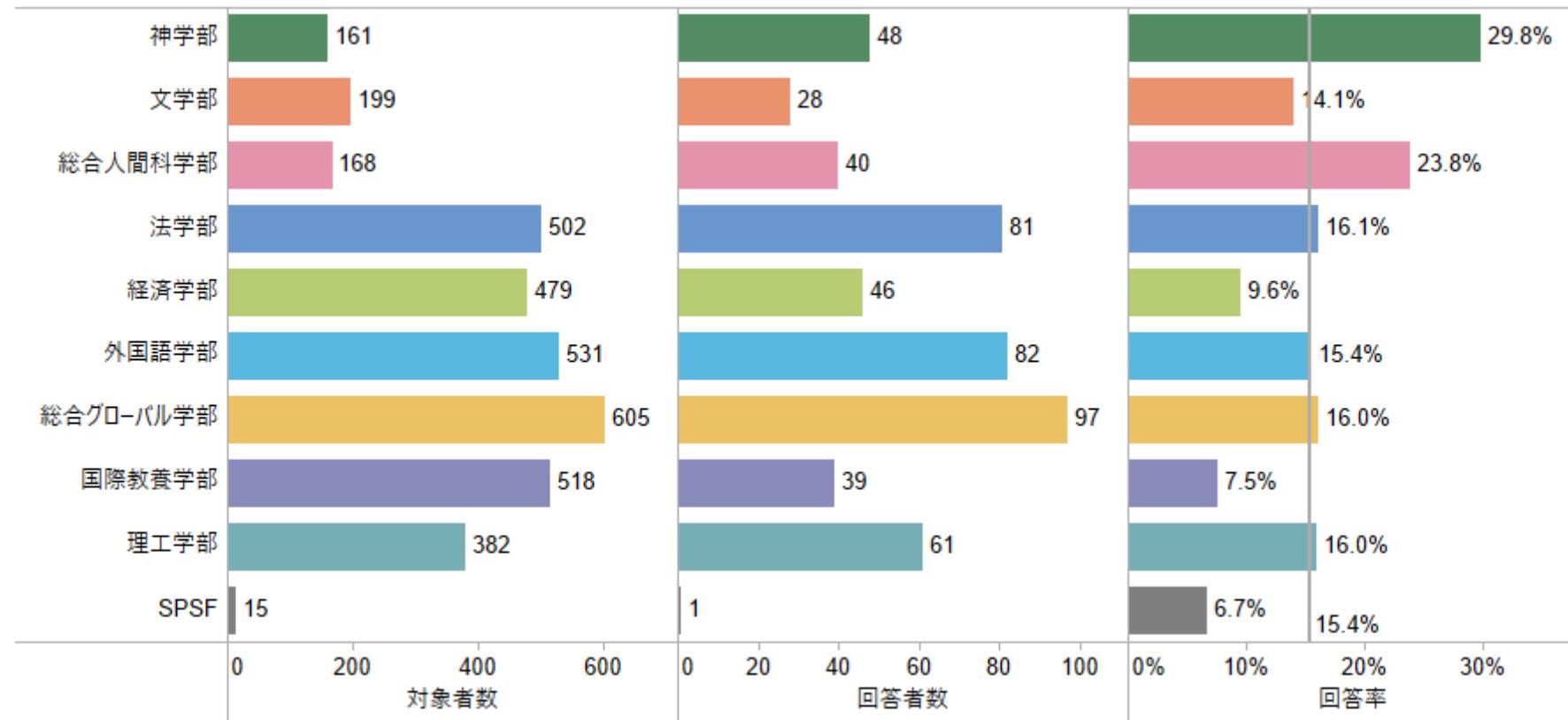
- 本学の強みは、授業の質、国際性、多様性ある学修環境、ならびに落ち着いた校風にある。
- 今後は、数理・データサイエンス教育の強化、学生参画型の教育改善の推進、経済的支援および低学年からのキャリア支援の充実が重要である。

2022年度に「卒業時に身につけるべき知識・能力・態度（DP）」を中心に整備



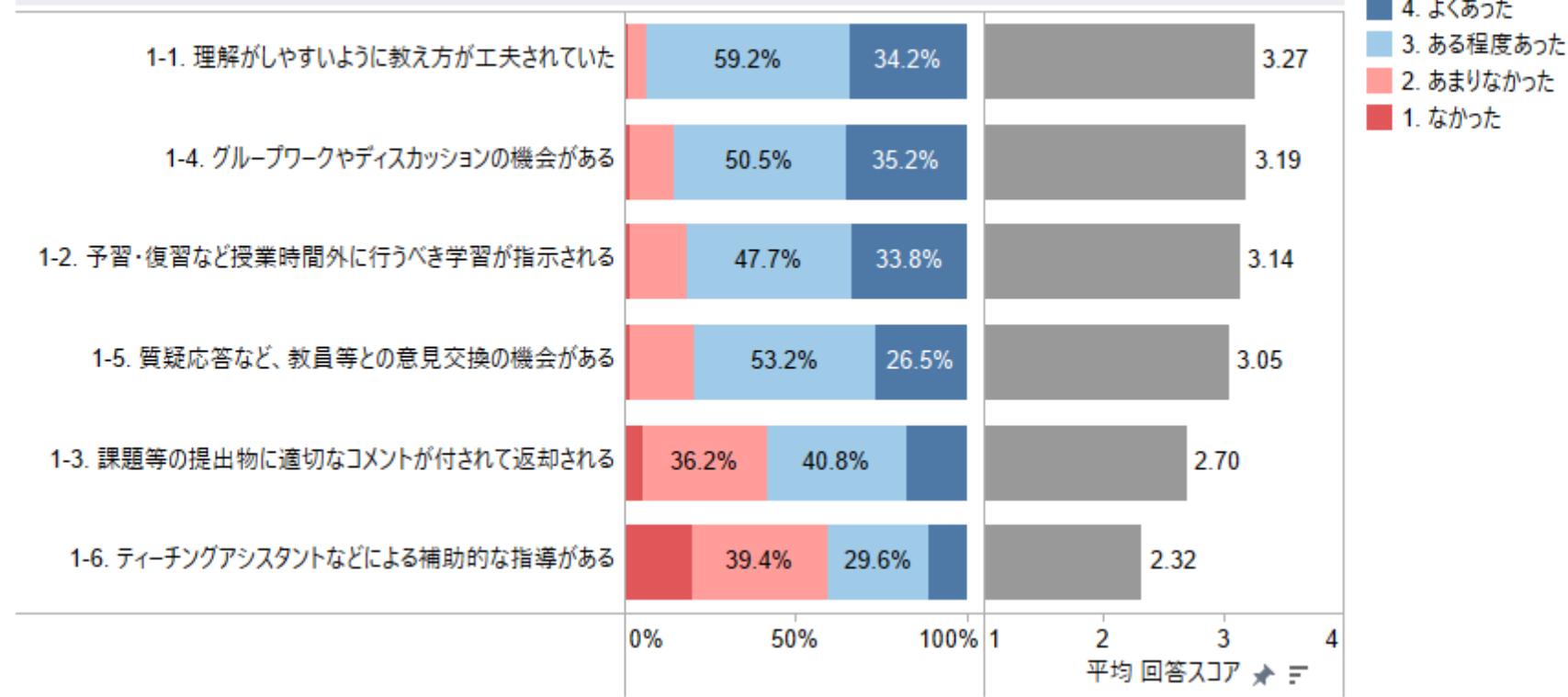
| | 入学時調査 | 在学時調査 | 卒業時調査 | 卒業後調査 |
|--------------|--|---|--|--|
| DPの能力 | <ul style="list-style-type: none">• 知っている• 身につけたい | <ul style="list-style-type: none">• 身についた• もっと身につけたい | <ul style="list-style-type: none">• 身についた• もっと身につけたかった | <ul style="list-style-type: none">• 身についた• 学生時代に身につけるべき |
| 学生生活等 | <ul style="list-style-type: none">• 居住形態・経済状況• 学生生活で力を入れたいこと• 学生生活で不安なこと | <ul style="list-style-type: none">• 学生生活で力を入れていること• 学生生活で不安なこと• 正課内外での活動時間• キャリア意識 | <ul style="list-style-type: none">• 学生生活で力を入れたこと• 成長に役立ったこと | <ul style="list-style-type: none">• 学生生活で力を入れたこと• 転職経験の有無• 現在の就労状況• 現在の経済状況 |
| 満足度等 | <ul style="list-style-type: none">• 志望順位• 入学動機• 媒体接触• 上智大学の推奨度（NPS） | <ul style="list-style-type: none">• 施設・設備・支援体制の満足度• 上智大学の推奨度（NPS） | <ul style="list-style-type: none">• 上智大学の推奨度（NPS） | <ul style="list-style-type: none">• 現在の就労先の満足度• 上智大学の推奨度（NPS） |

8,587名の対象者に対する有効回答者は1,326名。全体の回答率は15.4%。



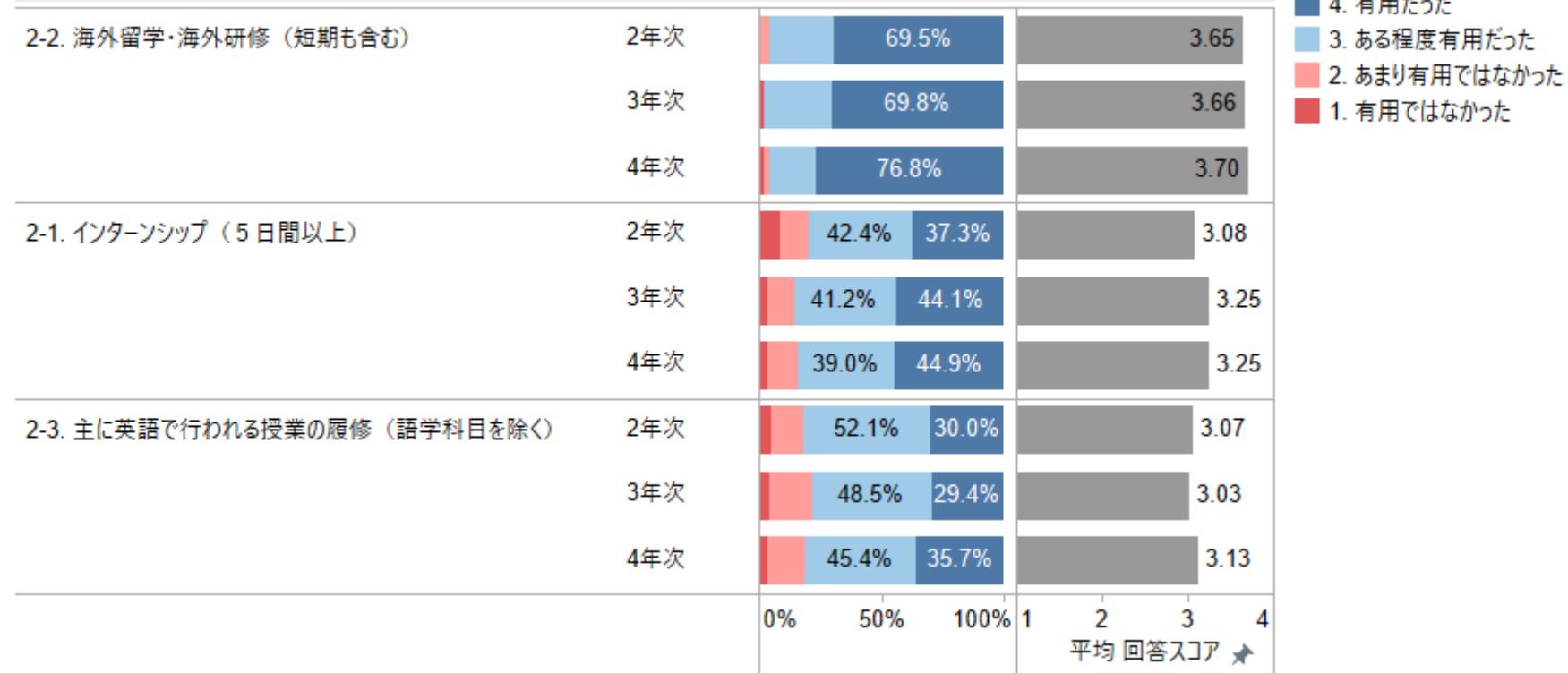
93.4%の学生が「理解しやすいように教え方が工夫されていた」と評価。

大学に入ってから受けた授業で、次の項目はどのくらいありましたか



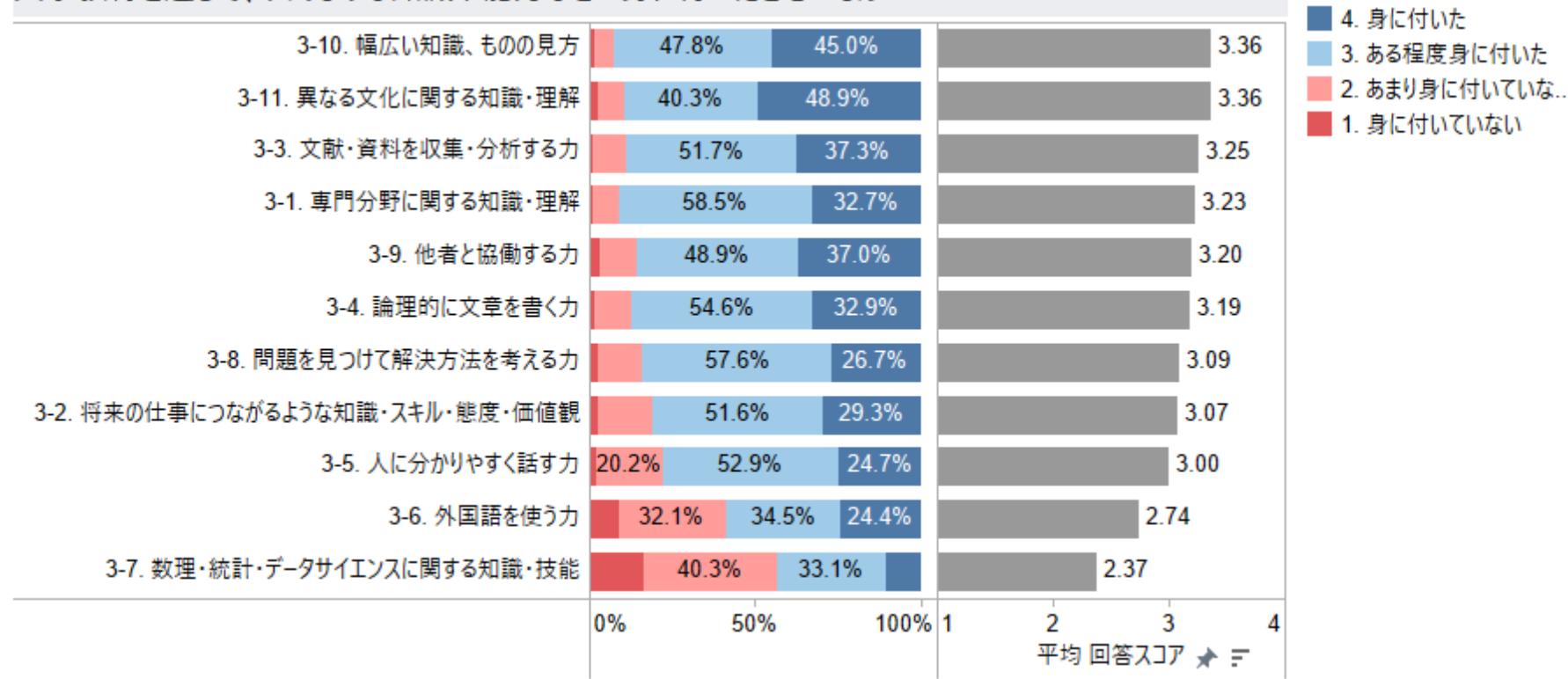
海外留学・海外研修を経験した学生のほとんどすべてが 「有用だった」「ある程度有用だった」と回答。

大学在学中に経験した以下の項目はどの程度有用だったと感じますか。



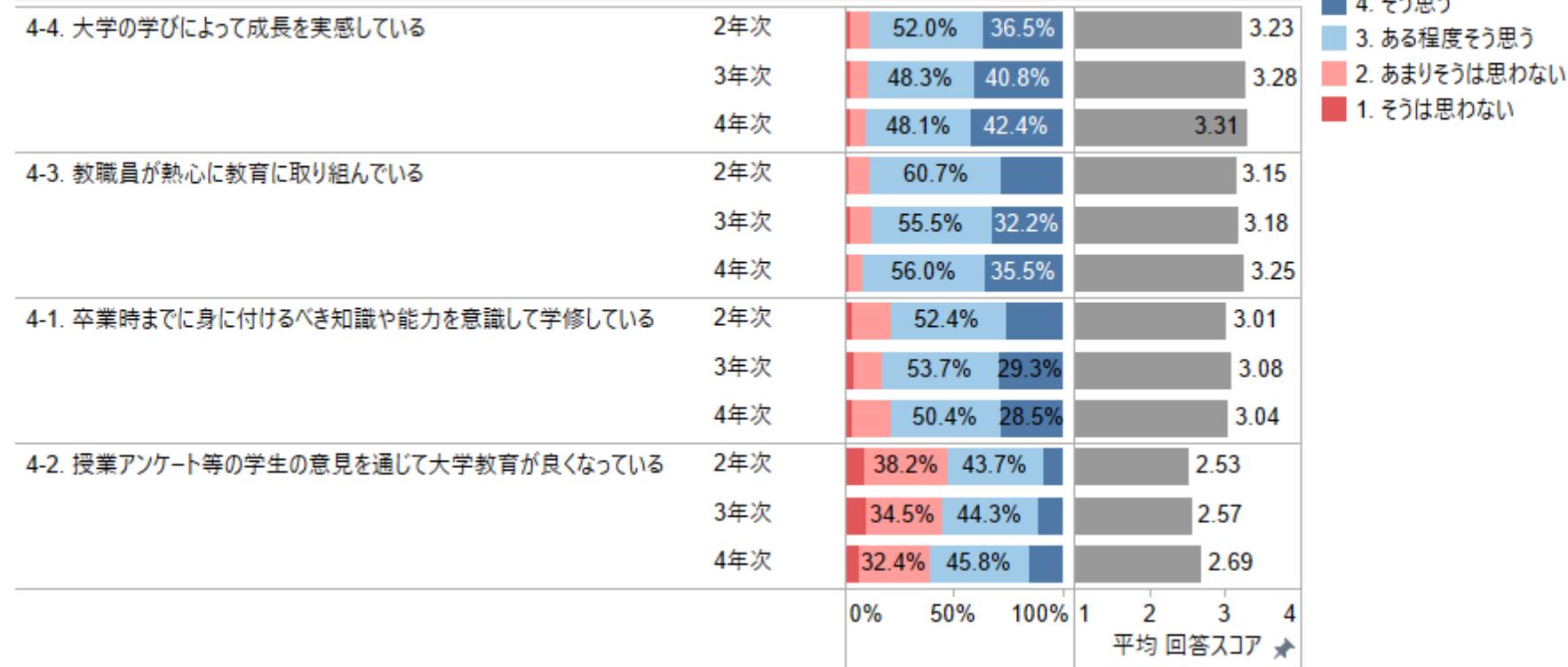
「幅広い知識、ものの見方」「異なる文化に関する知識・理解」が身についた学生が多い。
一方、「数理・統計・データサイエンスに関する知識・技能」が身についた学生が少ない。

大学教育を通じて、次のような知識や能力などが身に付いたと思いますか



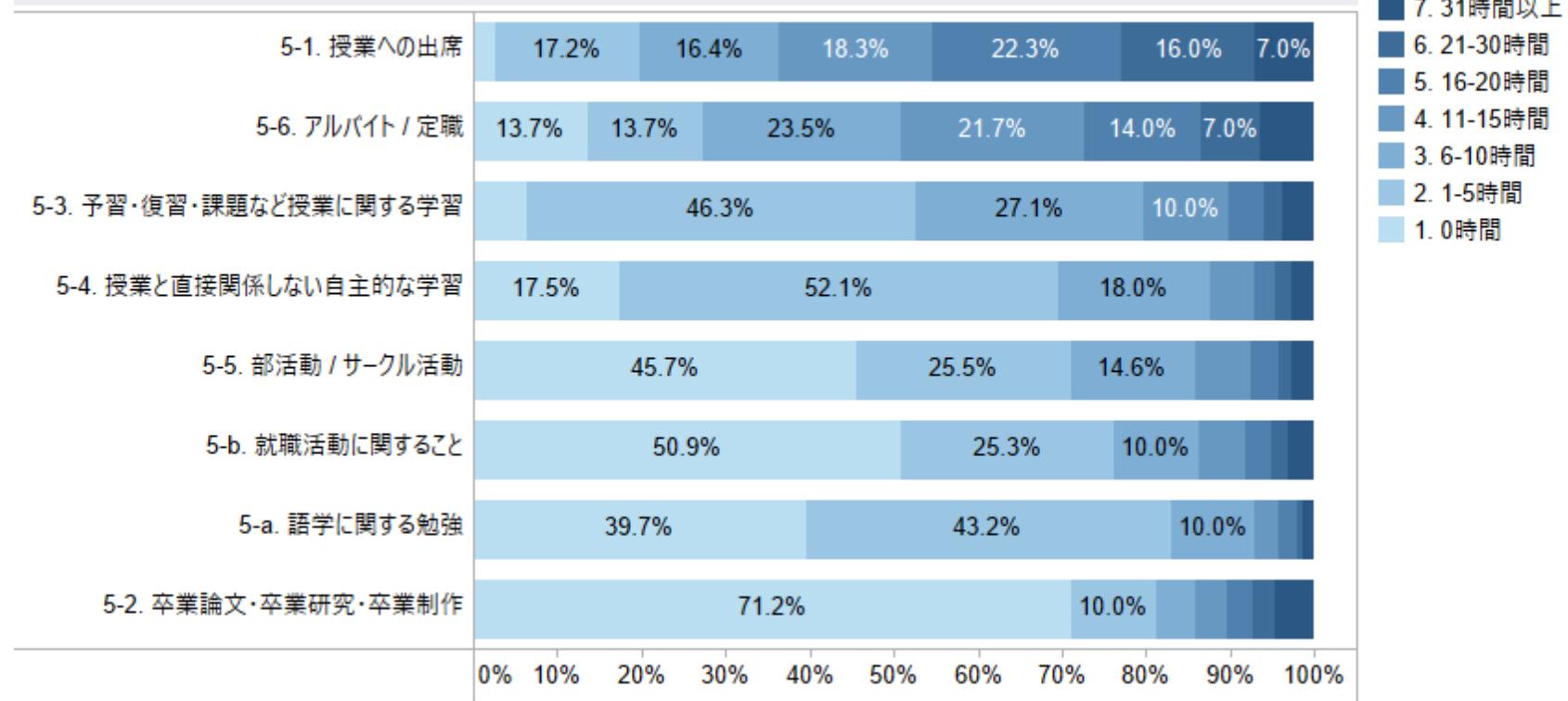
学年が上がるにつれて大学での成長実感や教育評価はやや高まる一方、学生の意見が教育改善に反映されているという実感は相対的に低い。

これまでの大学での学び全体を振り返って、次の項目についてどのように思いますか



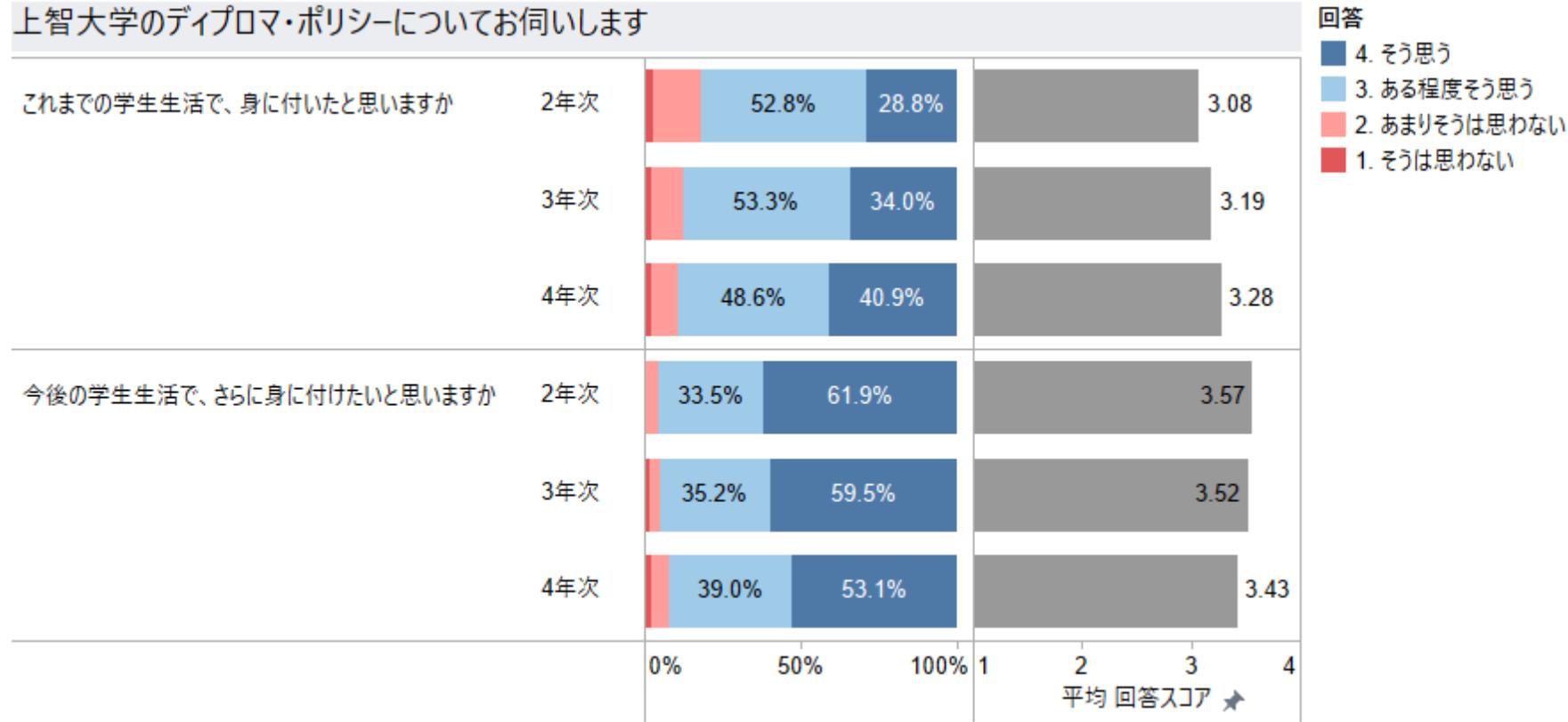
多くの時間を授業への出席とアルバイトに費やしている。

今年度後期の授業期間中の平均的な1週間（7日間）の生活時間は、それぞれどのくらいですか



学年が進行するに従いDPが身についた学生が増加している。
一方、さらに身につけたい学生は学年信頼に従い減少している。

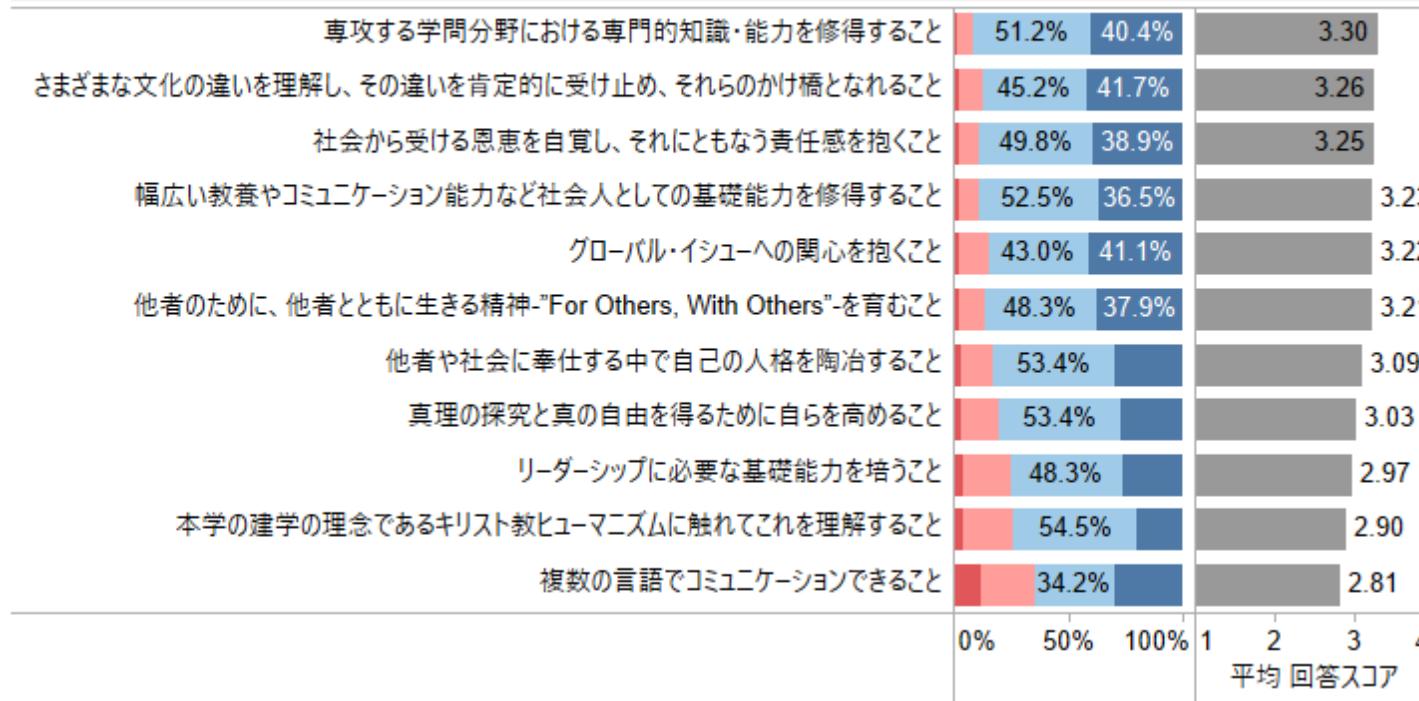
上智大学のディプロマ・ポリシーについてお伺いします



教育目標として掲げられている能力は概ね「高められた」「ある程度高められた」と回答。
 「キリスト教ヒューマニズム」「複数言語でのコミュニケーション」に課題か。

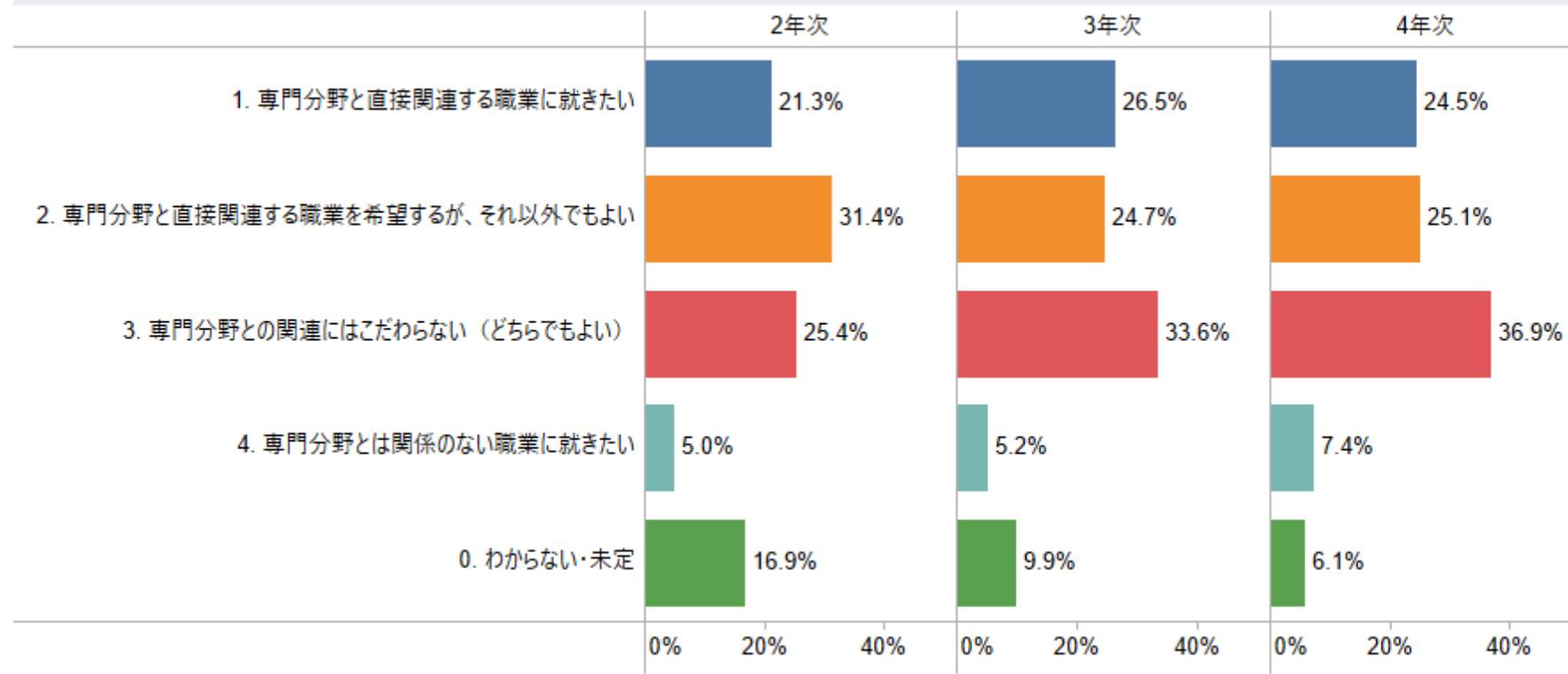
上智大学の教育目標として掲げられている次の項目について、大学生活を通してどの程度高められた
 と思いますか

回答
 ■ 4. 高められた
 ■ 3. ある程度高められた
 ■ 2. あまり高められなかった
 ■ 1. 高められなかった



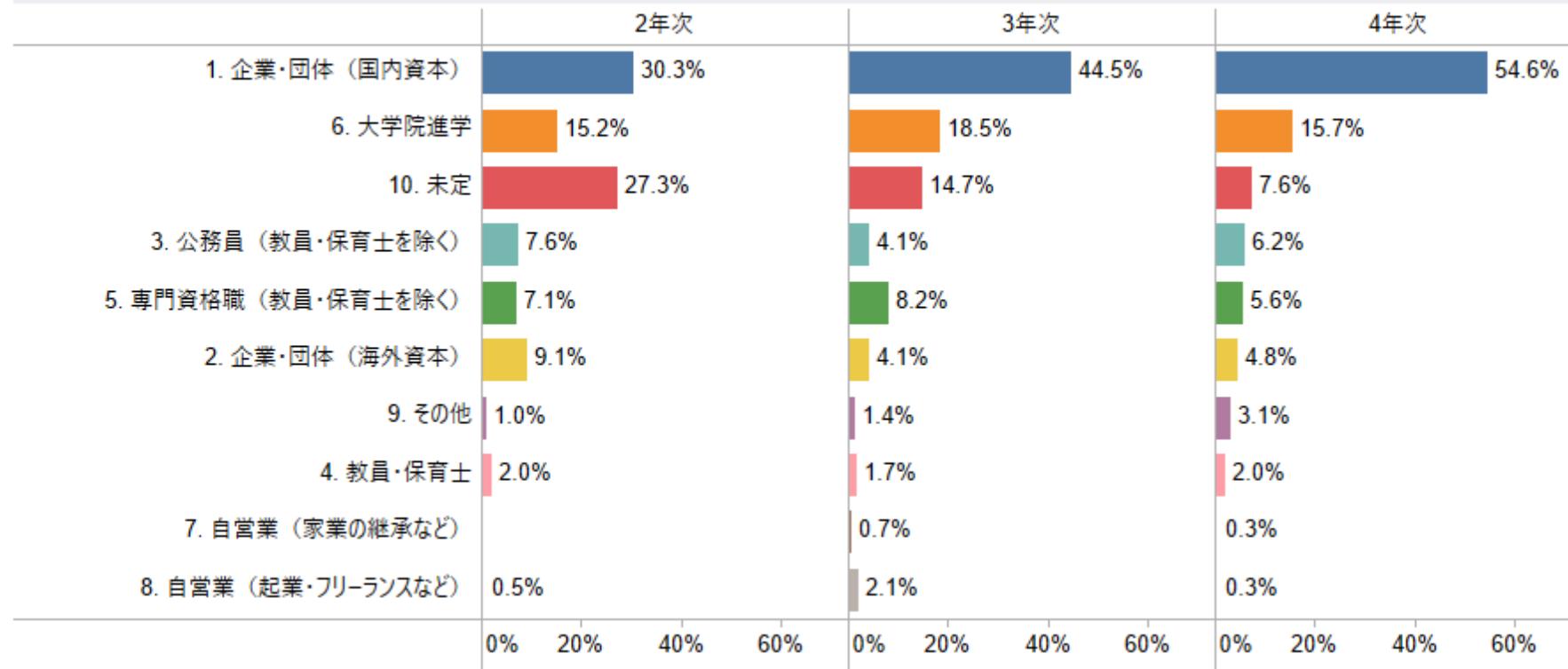
学年が上がるにつれて、専門分野と進路の結びつきに対する明確な志向は弱まり、「どちらでもよい」と考える学生が増えている

あなたが上智大学で学ぶ専門分野と進路との関係について、あなたの気持ちにあてはまるものを選んでください



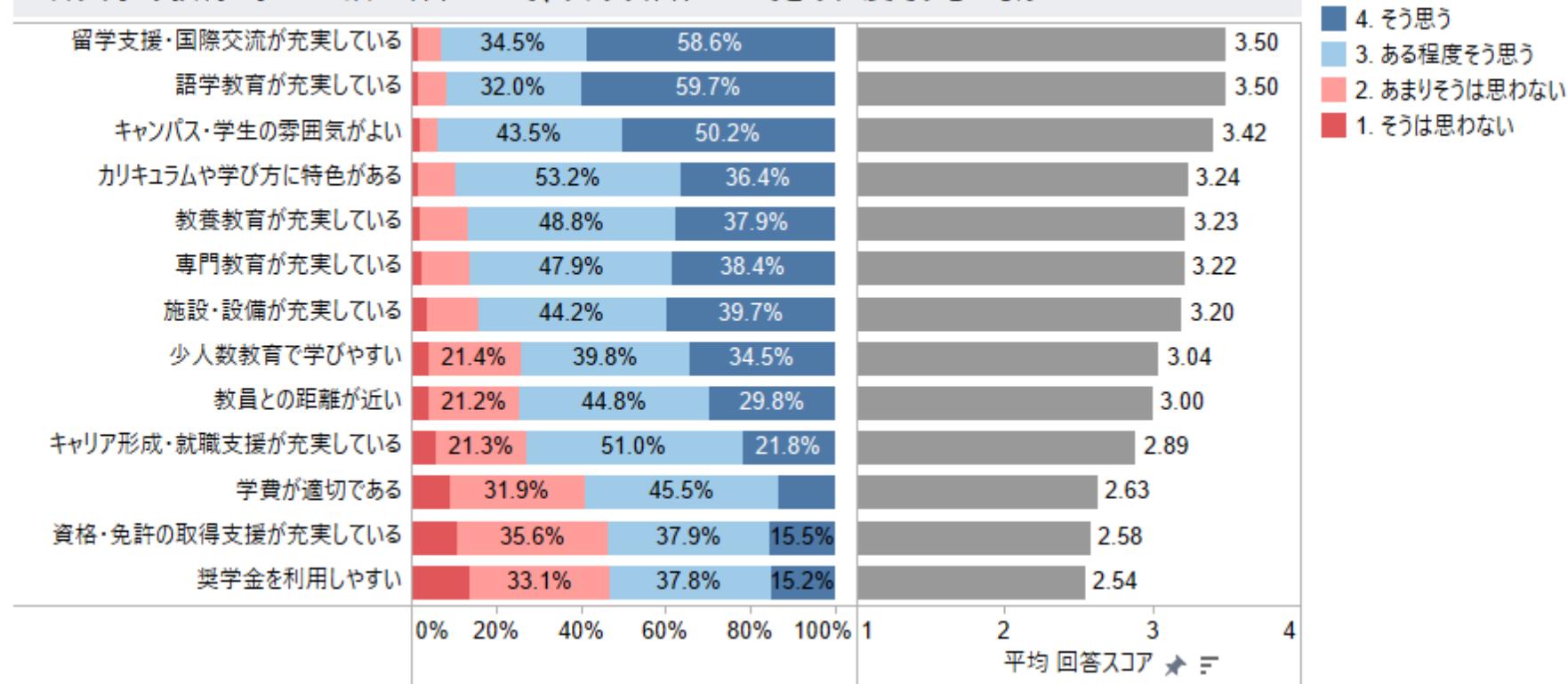
学年進行に従って進路の未定層は減少し、国内企業・団体への就職志向が明確に高まる。

大学卒業後の希望進路について、もっともあてはまるものを選んでください



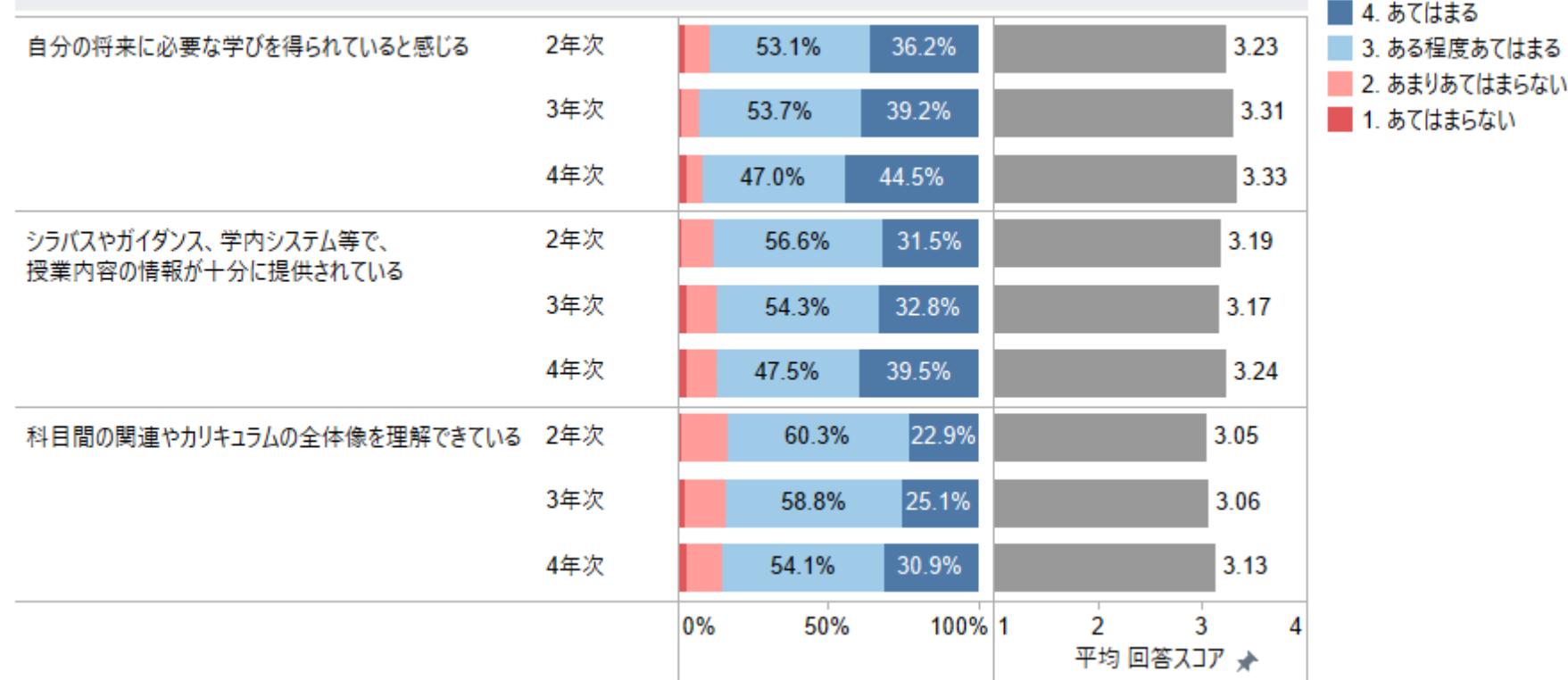
留学・語学やキャンパスの雰囲気など教育内容の評価は高い一方、学費や奨学金といった経済的支援への評価は相対的に低い

上智大学の教育・学生生活全体について、次の項目についてどの程度そう思いますか

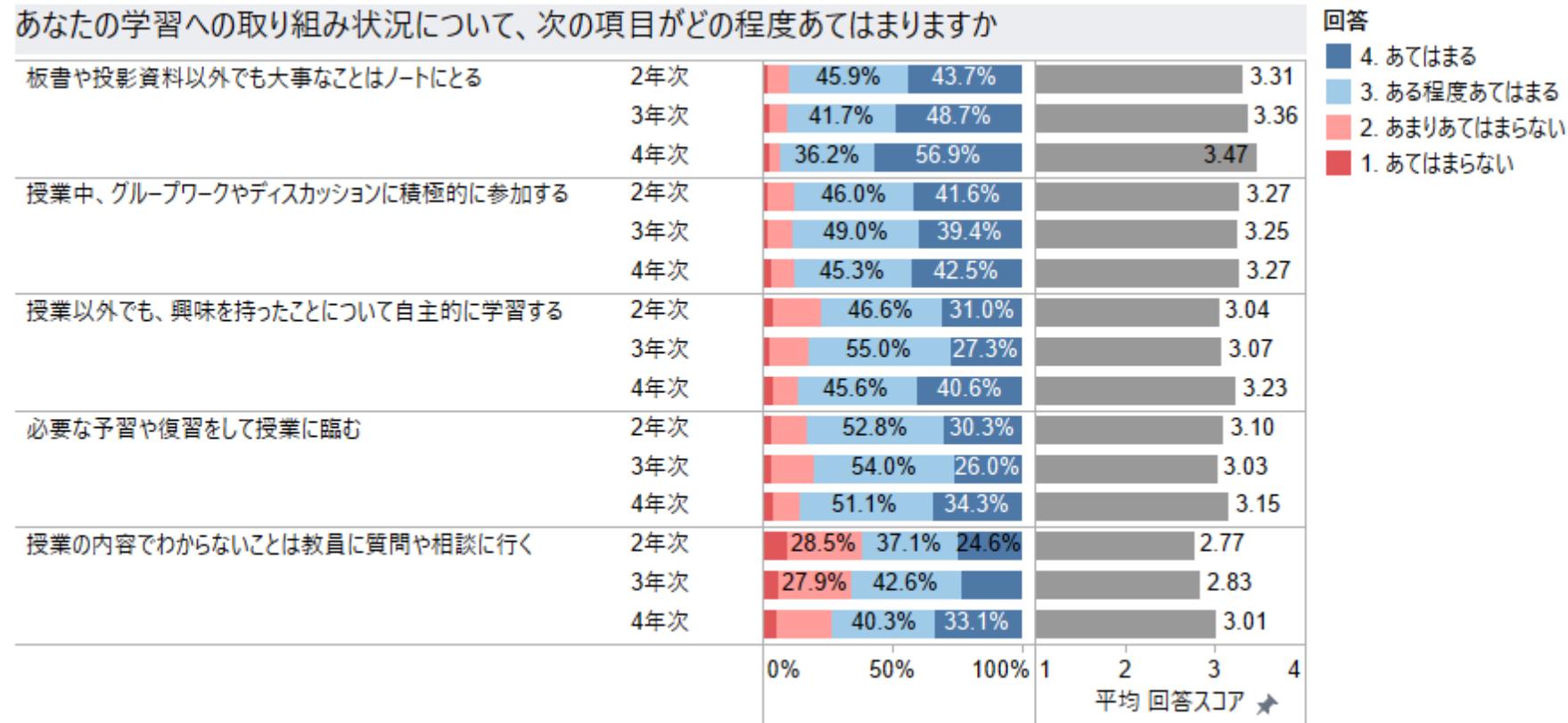


学年が上がるにつれて、授業・カリキュラムへの理解や納得感が緩やかに高まっている。

上智大学の授業・カリキュラムについて、次の項目にあてはまるものを選んでください

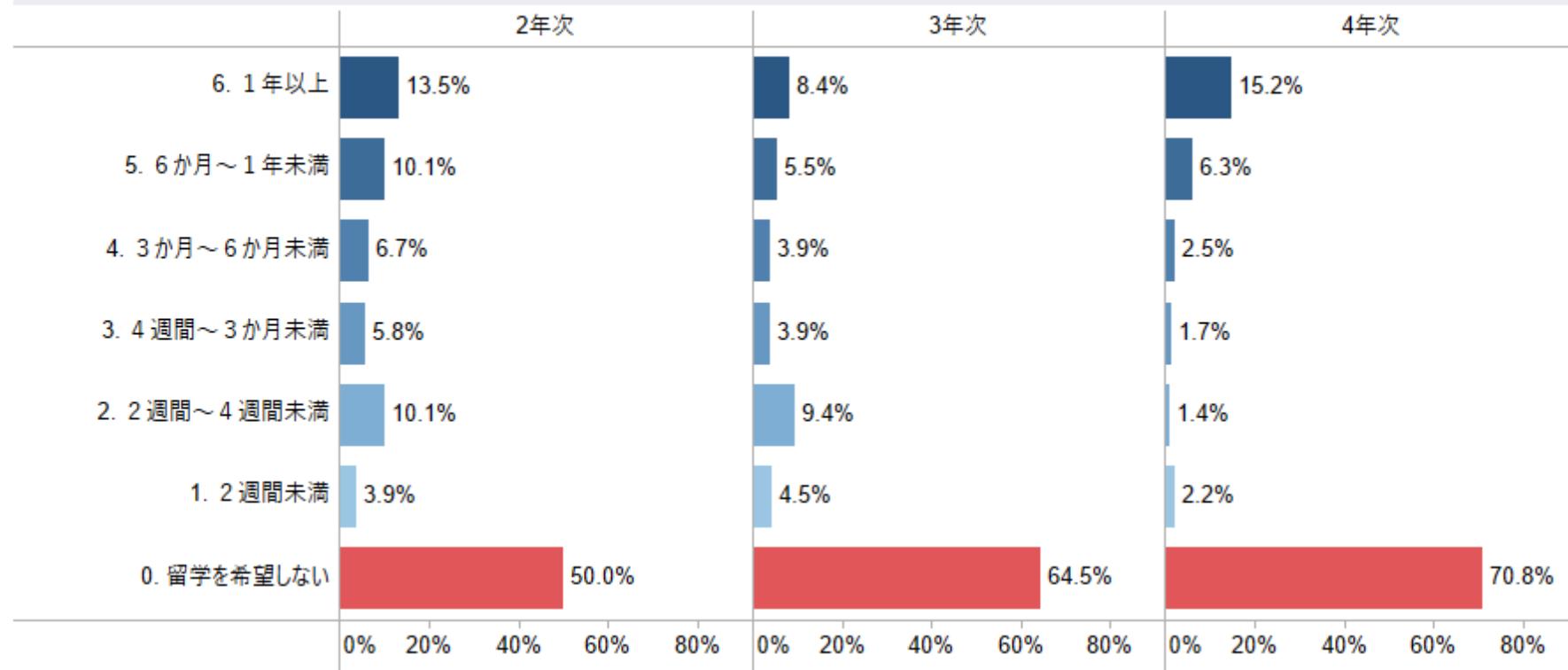


学年が上がるにつれて、ノート活用や質問行動など主体的な学習行動が強まっている。



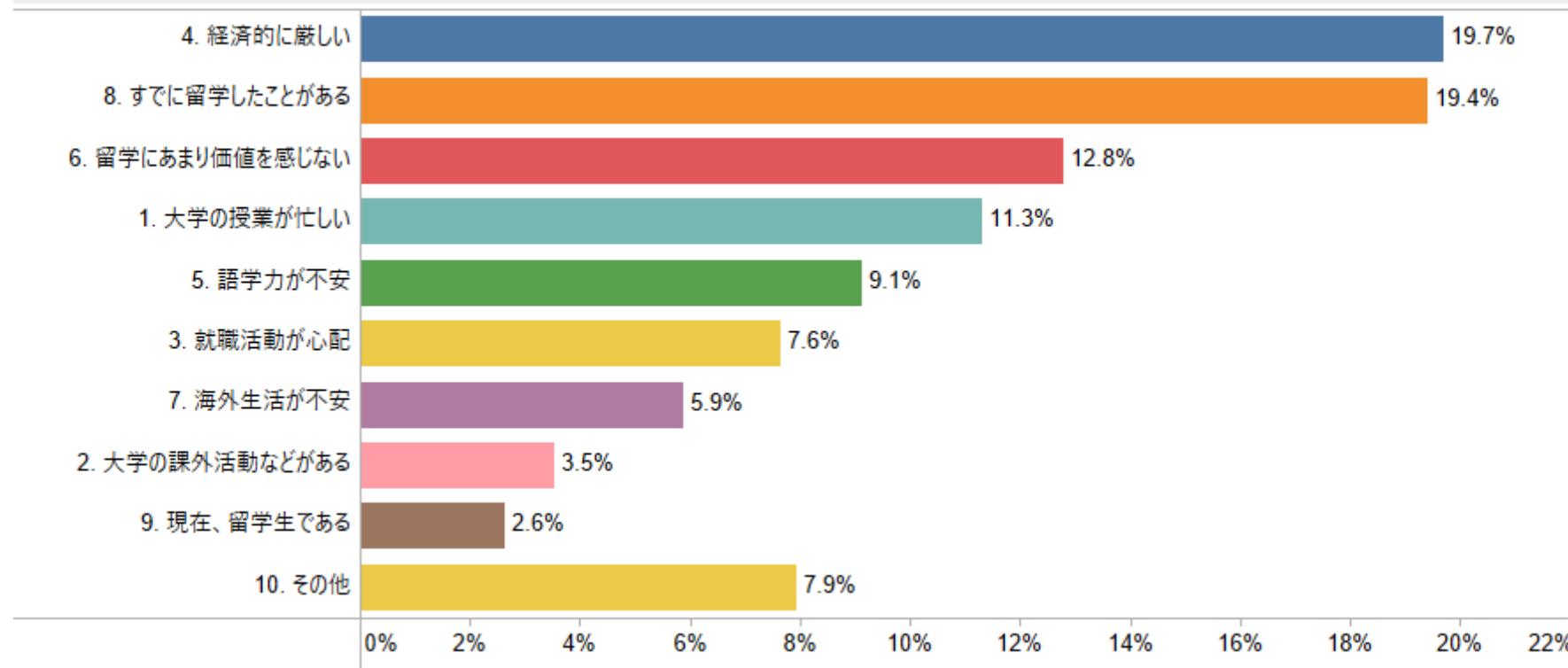
学年が上がるにつれて留学を希望しない学生が増え、留学意向は全体として低下している。

今後の留学意向をお聞きします。留学を希望しない場合は0を、留学を希望する場合は、希望する期間を選んでください



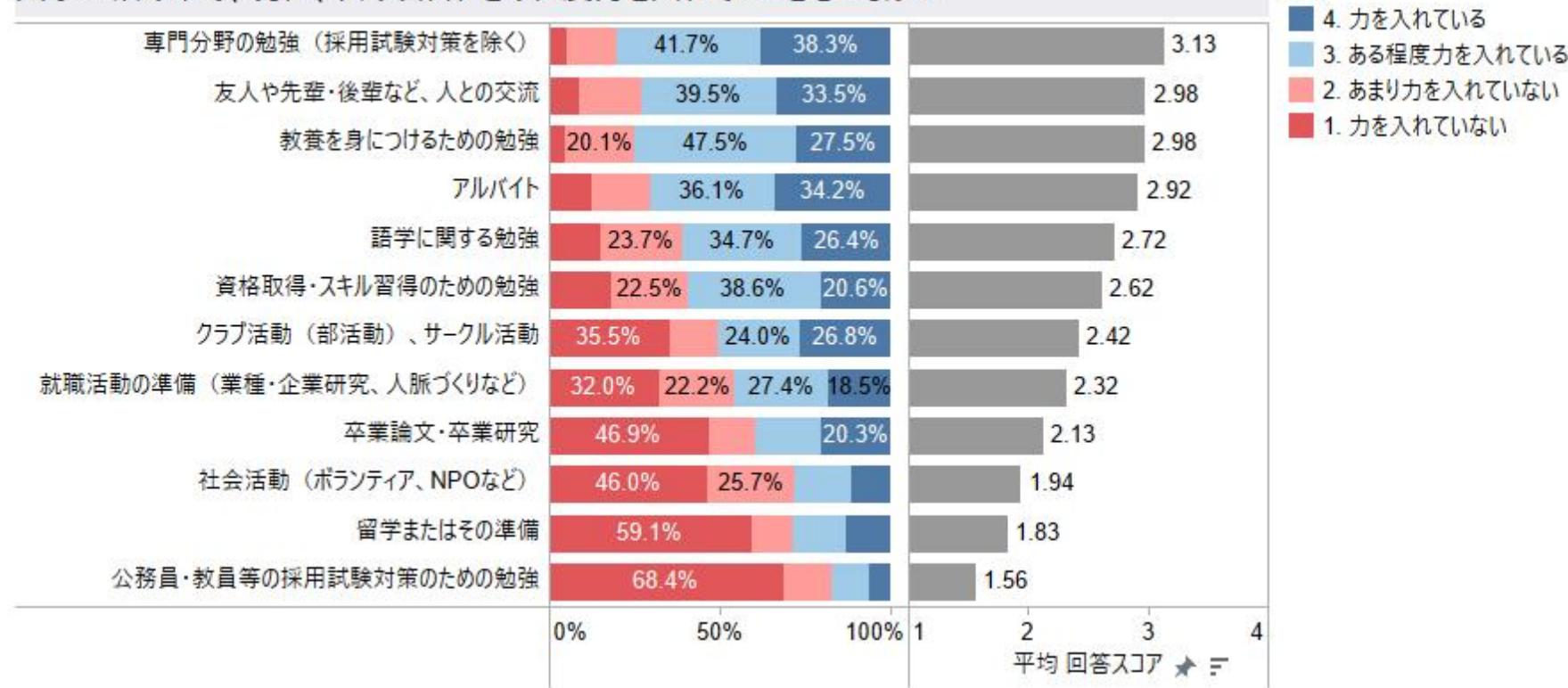
留学を希望しない主な理由は「経済的な負担」と「すでに留学経験があること」であり、費用面が最大の障壁になっている。

留学を希望しない理由として、もっともあてはまるものを選んでください



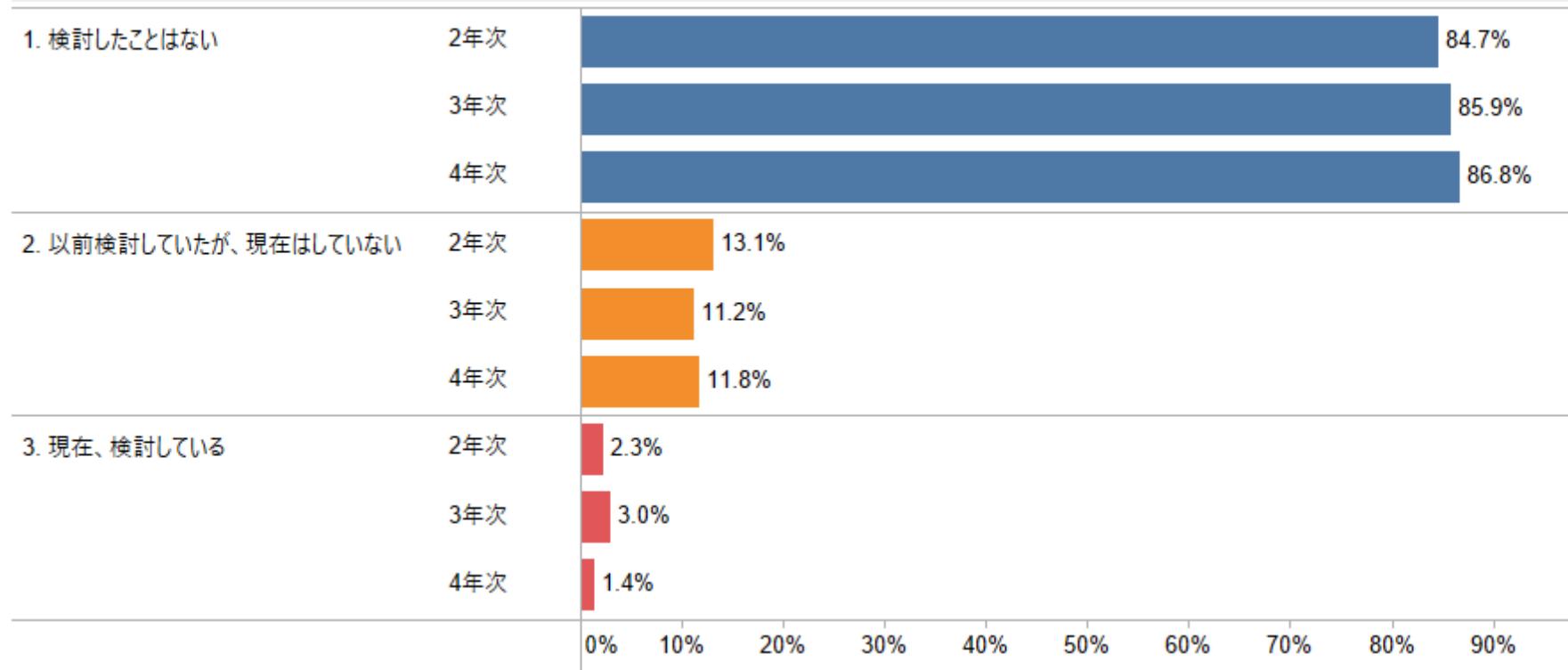
専門分野や教養を身につける勉強、人との交流やアルバイトには比較的力を入れている一方、社会活動や留学準備、公務員試験対策などにはあまり力を入れていない。

大学生活の中で、現在、次の項目にどの程度力を入れていると思いますか



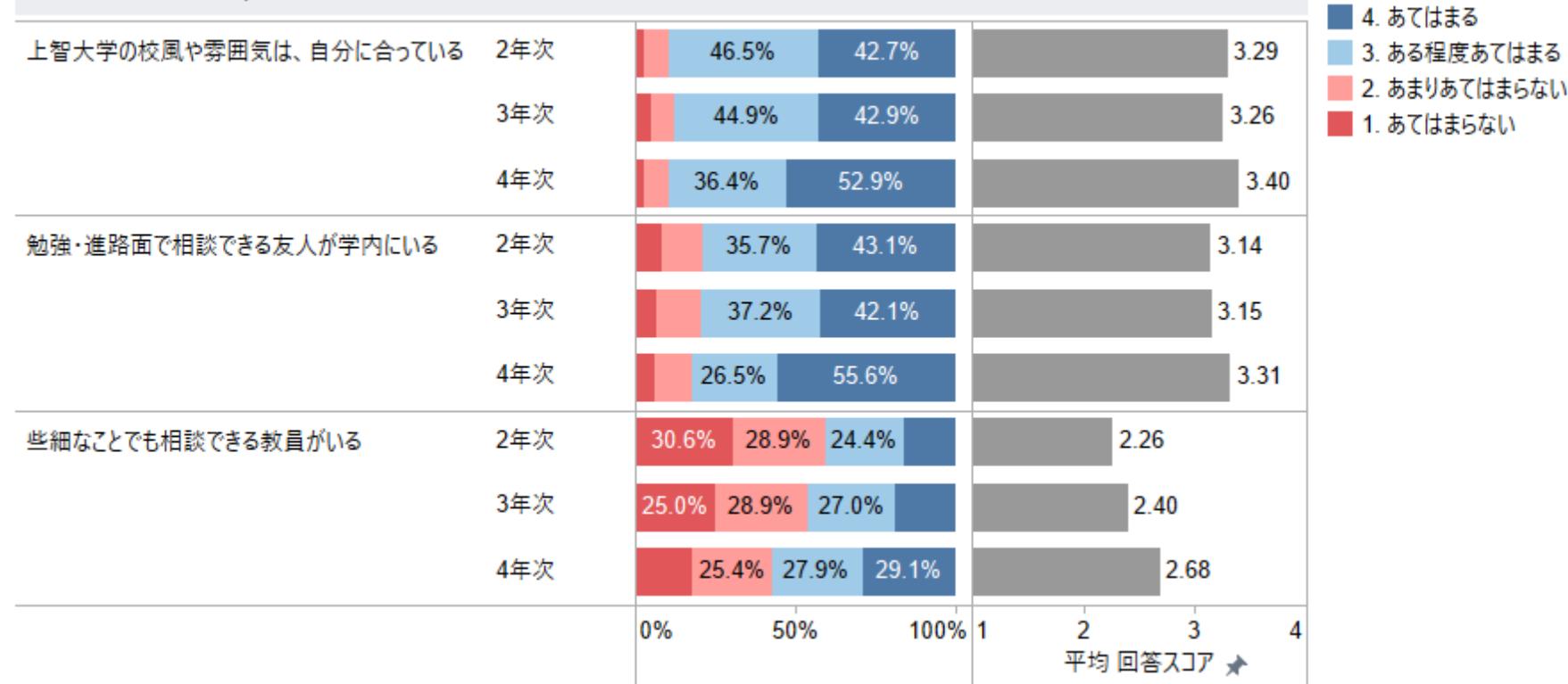
大多数の学生は在籍継続を前提としている一方で、
退学・再受験を一度でも検討した経験のある学生が1割強存在している。

入学以降、退学や他大学への再受験について検討したことはありますか。あてはまるものを選んでください



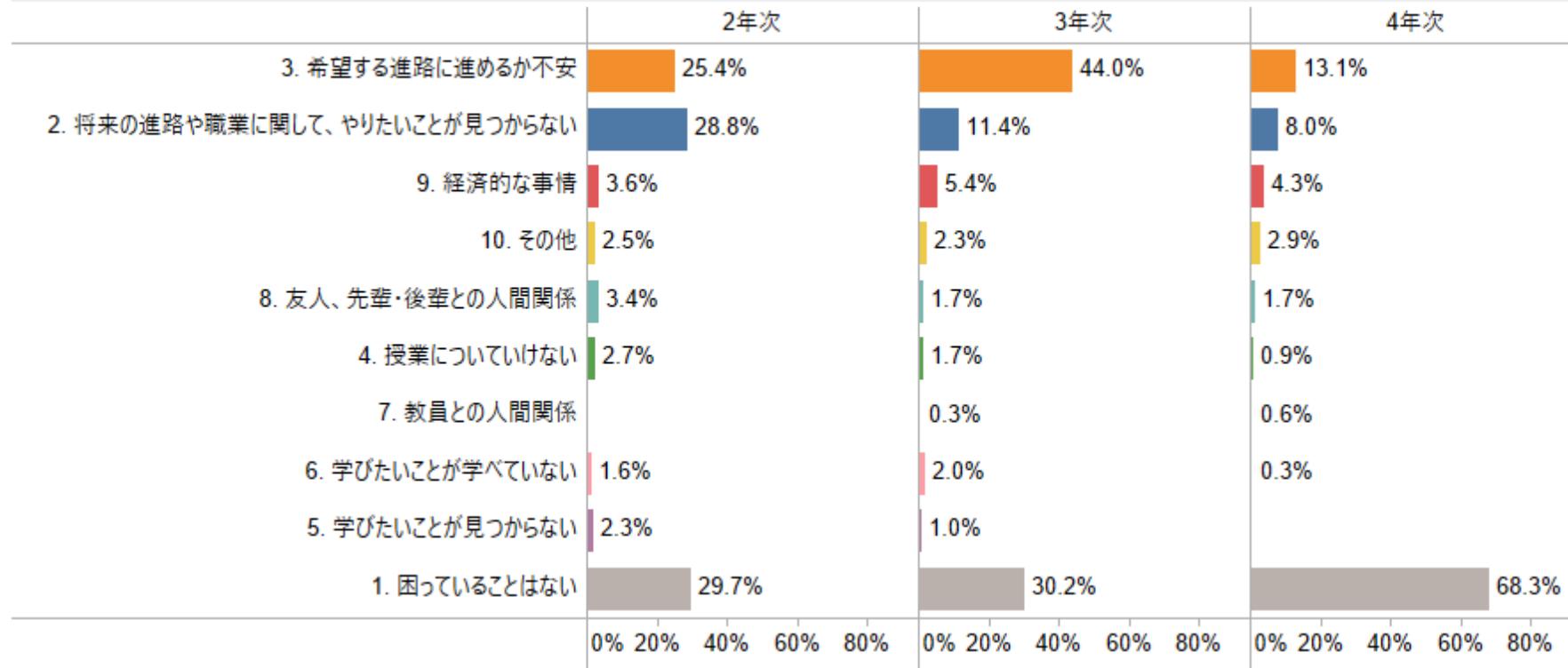
大学の校風や雰囲気への適合感や友人による相談環境は比較的良好である一方、教員に気軽に相談できる体制は相対的に弱く、学年が上がっても十分とは言えない。

次の項目について、現在のあなたの状況にどの程度あてはまりますか



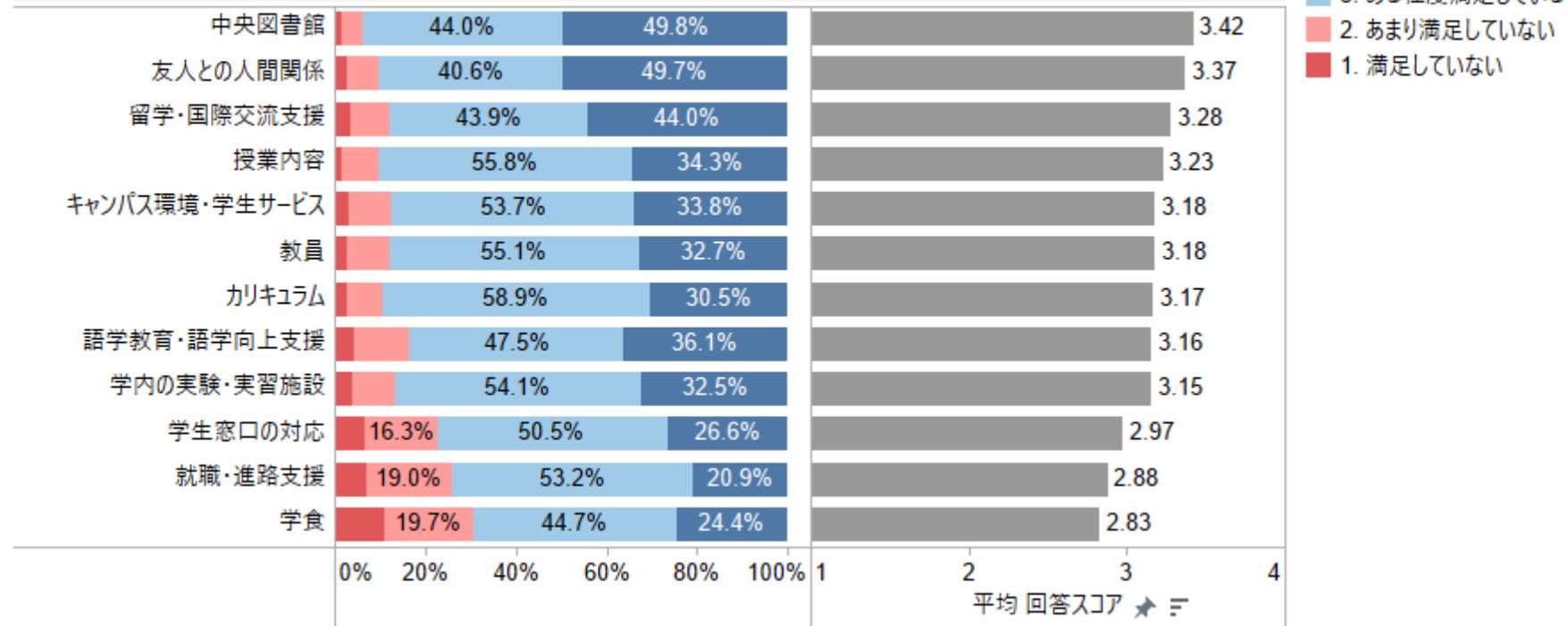
学年が上がるにつれて「困っていることはない」学生が大きく増える一方、低学年では進路に関する不安が主要な悩みとして目立つ。

今、困っていることがありますか。もっともあてはまるものを選んでください

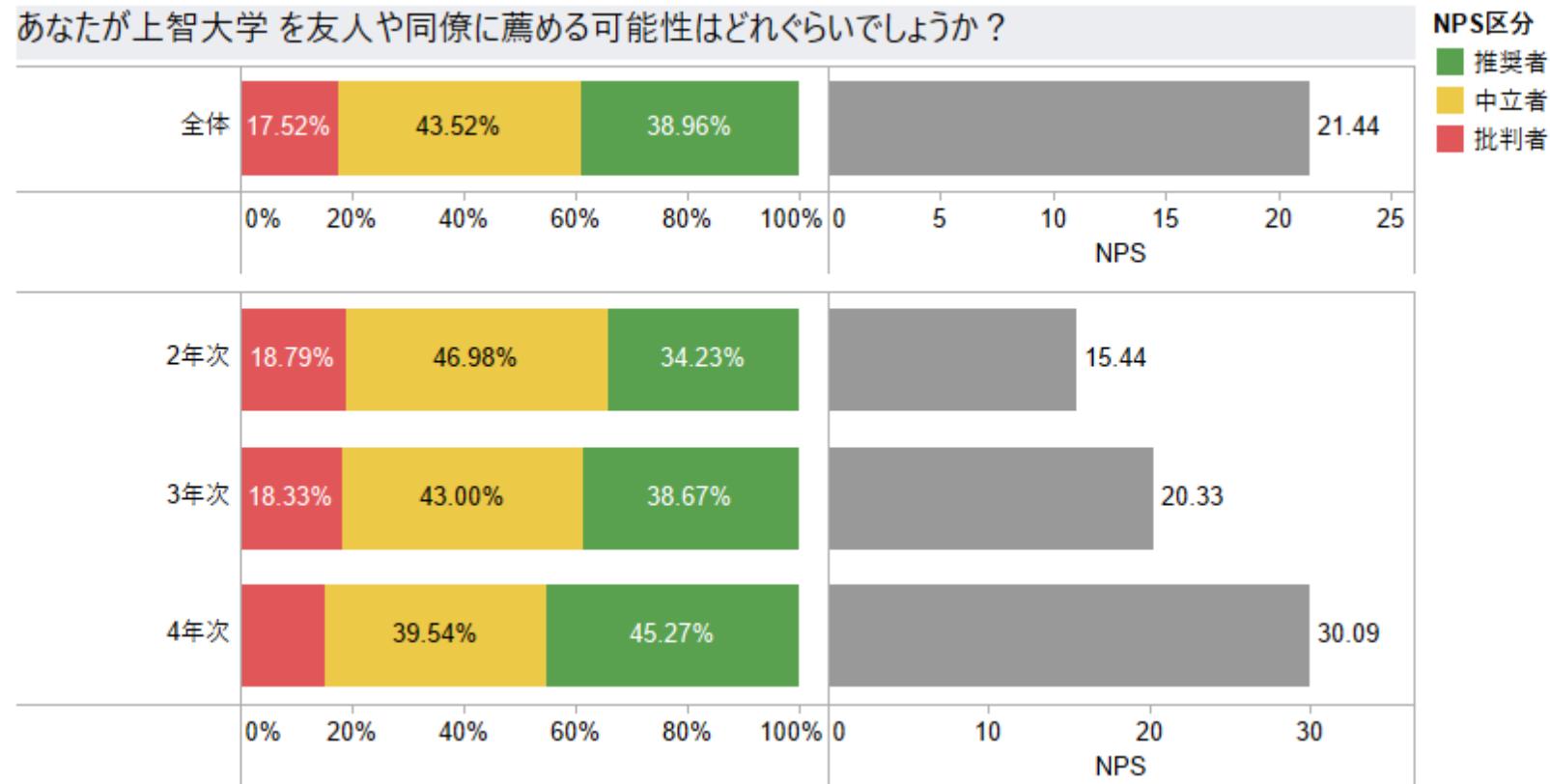


図書館や友人関係、留学・国際交流など学習・生活の基盤に対する満足度は高い一方、学生窓口や就職支援、学食への満足度は相対的に低い。

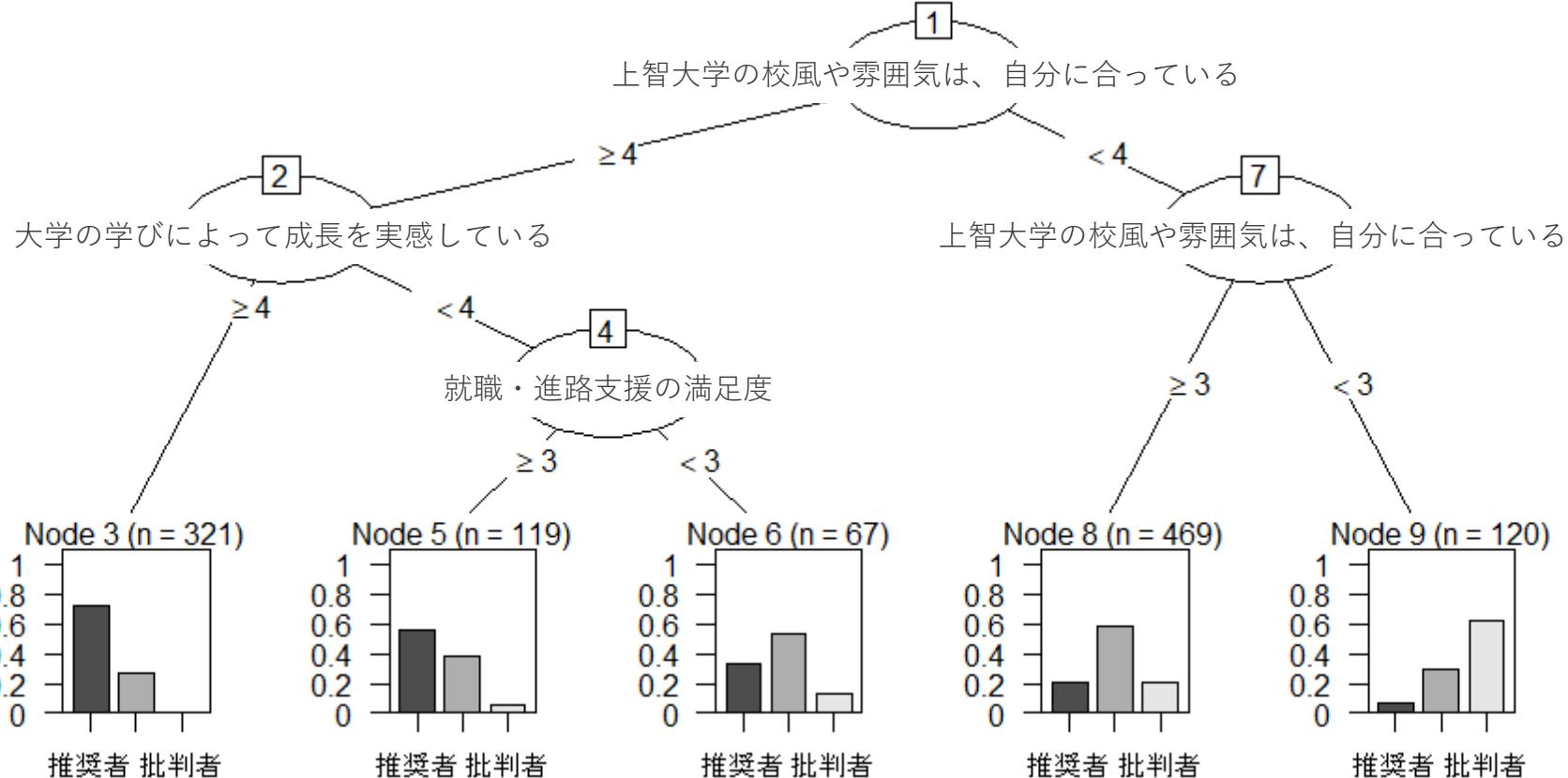
上智大学の教育や施設、学生生活について、次の項目についてどの程度満足していますか。あてはまるものを選んでください



全体のNPSは21.4。学年が上がるにつれて推奨度は上がる。



校風や雰囲気が自分に合っていて、成長を実感していると推奨者になりやすい。
成長実感がなくても、就職・進路支援の満足度が高いと推奨者になりやすい。



推奨度の理由：推奨者のポジティブコメント

① 学び・教育内容の満足度

- 授業が面白く、学びの質が高い／知的刺激がある
- 教員の専門性が高く、質問しやすい・距離が近い

② 多様性・人との出会い

- 多様な背景の学生と出会い、視野が広がる
- 学部や学年を越えた交流がしやすい環境

③ キャンパス環境・立地

- ワンキャンパスで学部横断的に学べる点が良い
- 都心立地で通いやすく、利便性が高い

④ 学生生活の充実感

- 自分自身が充実した学生生活を送っている
- 入学してよかったですと感じる経験が多い

⑤ 大学の雰囲気・ブランド

- 落ち着いた雰囲気で学びに集中できる
- 社会的評価や大学としての信頼感がある

推薦度の理由：批判者のネガティブコメント

① 学費とコストパフォーマンス

- 学費が高く、教育内容と見合っていないと感じる
- 取得できる資格やカリキュラムに対して割高

② 教育内容・教員への不満

- 教員の熱意や授業の質にはばらつきがある
- 専門分野によっては他大学の方が優れている

③ サポート体制（就職・留学等）

- 就職活動や留学支援が十分とは感じられない
- 学生への実務的サポートが弱い

④ 大学の独自性・魅力の弱さ

- 「上智ならでは」の強みが分かりにくい
- 他大学との差別化を感じにくい

⑤ 相性・学生気質の問題

- 学生のタイプによって合う・合わないが極端
- キャンパスライフの雰囲気に馴染めない人もいる



上智大学
SOPHIA UNIVERSITY

FOR OTHERS, WITH OTHERS